

## CS こひつじ科礼拝式次第

2022年11月27日 午前9時30分

2022年度年間テーマ：「イエス様の祈り『主の祈り』によって、祈ることを身につけよう」

テーマ曲：ワワワいっしょに（92番）

暗唱聖句：「主により頼み、その偉大な力によって強くなりなさい。」

エフェソの信徒への手紙 6章10節

### 9. めぐみうけて（こどもさんびかをお用いください）

おいのり 礼拝に招かれたことを感謝しましょう

せいしよ 創世記15章1～6節

これらのことの後で、主の言葉が幻の中でアブラムに臨んだ。

「恐れるな、アブラムよ。わたしはあなたの盾である。あなたの受ける報いは非常に大きいであろう。」

アブラムは尋ねた。「わが神、主よ。わたしに何をくださるというのですか。わたしには子供がありません。家を継ぐのはダマスコのエリエゼルです。」アブラムは言葉をついだ。「御覧のとおり、あなたはわたしに子孫を与えてくださいませんでしたから、家の僕が跡を継ぐことになっています。」

見よ、主の言葉があった。

「その者があなたの跡を継ぐのではなく、あなたから生まれる者が跡を継ぐ。」

主は彼を外に連れ出して言われた。「天を仰いで、星を数えることができるなら、数えてみるがよい。」そして言われた。「あなたの子孫はこのようになる。」

アブラムは主を信じた。主はそれを彼の義と認められた。

おはなし

「祝福の源となる御子」

雨宮寧々先生

みなさんは、誰かと“約束”をしたことがありますか？そして、その約束をしっかりと守ることができたでしょうか。お母さんと「ご飯のときはテレビを見ません。」と約束したのに、すぐに見たくなって、その約束を破ってしまったということがありませんか。人間は、約束を守りたいと思っても、なかなか自分の力では守ることができませんね。でも、私たちの神さまは、約束なさったことは必ず守って実行してくださるお方です。その神さまがアブラムさんとした約束から学びましょう。

アブラムさんは主の約束だけを頼りに旅をし、カナンの地に入ります。そこで神さまは「見えるかぎりの土地すべてをあなたとあなたの子孫に与えよう。天の星を数えてみなさい。あなたの子孫はこのようになる。」と祝福の約束をしてくださいました。そのとき、アブラムさんと妻のサライさんは年を取っていたので、とても男の子が与えられるとは思えない状況でした。そこで神様に「このままでは家で働いてくれているエリエゼルの跡継ぎにするしかありません」と素直に言いました。すると神様は、「いいや、あなたから生まれるものが後を継ぐ」とはっきり言ってくれました。そこでアブラムさんは「神さまは必ず約束を守って果たしてくださる。」ということをもう一度信じました。そして、神さまはこのアブラムの信仰を「よし」とされて、アブラムさんは義と認められたのです。

アブラムさんは神さまのおっしゃった約束を信じてすべてをおまかせしました。ここから、神さまの私たち人間に対する祝福がはじまりました。

アブラムさんとサライさんに男の子が与えられ、それから子孫がどんどん増えていきました。そして、みんなが信じているイエスさままでいきつきます。イエスさまは、祝福の源と呼ばれるアブラムさんの子孫なんです。

アブラムさんが神さまの約束をただ信じて義とされたように、私たちも今も聖書の言葉で語りかけてくれる主イエスさまを救い主として信じる時、神さまのまえに義とされ、イエスさまと一緒に歩んでくださいます。

\* 小さなお子さまには、話の内容等をわかりやすく、年齢に合わせて噛み砕いてお話くださいますようお願い致します。

(けんきん) 会堂 2 階掲示板下の机に献金箱を設置しました。

おいでの際におささげください。

13、おほしがひかる (こどもさんびかをお用ください)